

令和4年度

事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込み書類

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)



公益財団法人郡山コンベンションビューロー

## 令和4年度 公益財団法人郡山コンベンションビューロー事業計画

### 1. 基本方針

新型コロナウイルス感染症対策のため、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき人の移動を制限するなど経済をいわば人為的に止めたことにより、MICE にも重大な影響を及ぼしている。

国を挙げてワクチン接種、経口薬の普及など様々な感染対策が講じられており、諸外国においては行動制限を撤廃する動きも見え始めている。

国においては、ウィズコロナの下で、経済活動の再開・継続を可能とする新たな日常の実現を図ることとしている。

本財団においても感染症対策に対応した活動を前提に、MICE の積極的な誘致・企画・支援を展開し、郡山地域全体の元気と活力の創出を図るとともに、県内 22 の会員自治体との連携のもと、観光資源の周知に取り組み、参加者のエクスカージョンやリピーターの増加を図るなど県内全域にわたる活性化に寄与する。

### 2. 令和4年度 事業計画

当財団の柱となる誘致活動は、感染状況等を注視しながら首都圏への営業訪問活動を行うとともに、WEB商談への対応や、オンラインでの施設紹介など主催者のニーズに対応した誘致活動を行う。「IME2023」や「地方都市コンベンション関連団体合同ワークショップ」等の商談会に参加し、各種会議・学会・大会、企業ミーティングのほか、スポーツ・国際コンベンションについても積極的に誘致を図る。

特に「郡山コンベンションフェア」等を通して、地元主催者へのアプローチを図るとともに、施設や観光、支援内容等本市の魅力をPRすることにより、郡山地域での大会等の開催、または開催立候補しやすい環境づくりに努める。

支援体制については、英文マップの制作など国際会議開催に対応した支援物品の製作・提供などの支援に加え、コロナウイルス感染症対策を強化充実し、安全安心なMICE開催に向けた丁寧な支援を行う。

また、主催者の意見・要望等を踏まえ、効率的かつ魅力ある支援について調査研究を行い、主催者に寄り添った支援の維持改善を継続する。

さらに、従来からの開催助成金の維持継続を図るとともに、地域内の消費拡大を図るため、ECサイトを通じた販売など、経済波及効果を高める施策を行う。

## (1) 誘致支援活動

### ① コンベンション誘致事業の推進

- ・首都圏への誘致セールスの実施（オール郡山体制での営業活動）  
（コロナ禍で延期・中止となった学会・大会の主催者への働きかけの強化）
- ・地方支部等への誘致セールスの強化  
（東北支部、福島県支部、郡山支部等への営業活動）
- ・Zoomなどを活用したWEB商談の実施
- ・オンラインでの施設紹介の検討（動画制作など）
- ・「郡山コンベンションフェア」の開催
- ・「国際MICEエキスポ（IME2023）」への出展
- ・「東北地区MICE誘致商談会」への出展
- ・地方都市コンベンション関連団体主催の「合同ワークショップ」への出展
- ・国際会議の誘致推進  
（研究機関や行政、関係団体への説明会、懇談会の開催）  
（FreeWi-Fi等インターネット環境整備への協力）
- ・スポーツコンベンションの誘致推進
- ・主催団体キーパーソンの招聘、施設見学、懇談会の開催
- ・福島県内コンベンション関係団体との懇談会の開催
- ・郡山地域コンベンション施設連絡会の開催
- ・開催助成金の積極的な周知
- ・助成制度の拡充に向けた調査研究

### ② コンベンション支援事業の推進

- ・国際会議開催に対応した支援物品の製作・提供、支援  
（英文マップの製作）
- ・安全安心なMICE開催に対応した支援物品の提供・貸出  
（マスクや消毒液など感染防止グッズの提供）  
（飛沫感染防止アクリル板の貸出）  
（サーマルカメラの貸出）  
（タブレット型・手かざし型検温機の貸出）  
（非接触型体温計の貸出）
- ・各種助成金の交付  
（コンベンション開催助成金）  
（スポーツコンベンション開催助成金）
- ・コンベンションセミナーの開催
- ・コンベンションサポーターの育成  
（文化財、旧跡、観光施設等の視察研修会の開催）  
（各種研修会の開催）
- ・アフターコンベンションの充実  
（復興スタディツアーの拡充）  
（賛助会員市町村の観光資源の周知）  
（産業観光コースの周知）  
（魅力ある懇親会「ユニークベニュー」の検討）  
（ECサイトでの販売等の推進）
- ・支援ツールの充実  
（コンベンションバックの提供／有料）  
（ビニール製袋の提供）  
（ビジターズガイド等各種パンフレットの提供）  
（ネームプレート等備品の貸出）  
（歓迎看板の掲出／郡山駅・磐梯熱海駅・福島空港・会場前）

- (歓迎プレートの掲示／ホテル・飲食店)
- (懇親会でのアトラクション、樽酒、盛花、ステージタイトルの提供)
- (コンベンションサポーターの派遣／シャトルバスへの誘導・インフォメーションデスクの設置)
- (地酒、民芸品等の臨時物産販売コーナーの充実)
- ・各種研修会・セミナーの開催
- ・地元コンベンション関連会社との連携強化
- ・(一社)郡山市観光協会・郡山市観光物産振興協会との連携強化

### ③ コンベンション関連事業への支援強化

- ・外国人向け観光PRツールの調査研究
- ・英語、中国語(簡体語／繁体語)、韓国語表記など案内表示板改定への協力
- ・「一本の水路」(猪苗代湖・安積疎水・安積開拓など)の日本遺産魅力発信推進事業への協力
- ・メディカルツーリズムに関する調査研究

## (2) 調査研究活動

### ① 開催意向調査、波及効果調査

- ・コンベンション(MICE)開催意向調査
- ・主催者及び参加者に対するアンケート調査及び対応
- ・経済波及効果の算出
- ・主催者及び営業先データベースの整備
- ・コンベンション先進地の調査・研究
- ・各種フォーラムへの参加
- ・自然災害や感染症対策に関する調査研究

### ② 組織強化

- ・職員研修(コンベンション関連セミナー・研修会への参加)
- ・コンベンション関連機関との連携  
(日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー〔JCCB〕、  
東北地区コンベンション推進協議会、福島県内コンベンション関係団体連絡会、  
地方都市コンベンション関連団体)
- ・こおりやま広域連携中枢都市圏を含めた広域連携の推進  
(近隣市町村及び企業等へ賛助会員入会の依頼)
- ・賛助会員等による会員交流会の開催

## (3) 広報宣伝活動

- ・「コンベンションガイド／主催者版」「ビジターズガイド／参加者版」の製作
- ・「飲食店ガイド」の製作
- ・「郡山市中心市街地MAP」の製作
- ・施設紹介動画作成に向けた調査・研究
- ・広報誌「Convention city こおりやま」の発刊(年4回)
- ・コンベンション情報の提供及び収集(コンベンションカレンダーの発行〔毎月〕)
- ・ホームページのリニューアル
- ・デジタルサイネージの有効活用と情報発信  
(賛助会員市町村のイベント観光情報の発信)
- ・報道機関との連携強化

**令和4年度 公益財団法人郡山コンベンションビューロー 収支予算**  
**令和4年4月1日から令和5年3月31日まで**

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
<b>(1) 経常収益</b>				
<b>基本財産運用益</b>	<b>3,000</b>	<b>13,000</b>	<b>△ 10,000</b>	
基本財産受取利益	3,000	13,000	△ 10,000	
<b>寄附金収入</b>	<b>2,000</b>	<b>2,000</b>	<b>0</b>	
基本財産収入	1,000	1,000	0	
寄付金収入	1,000	1,000	0	
<b>会費収入</b>	<b>7,780,000</b>	<b>8,140,000</b>	<b>△ 360,000</b>	
賛助会員会費収入	7,780,000	8,140,000	△ 360,000	
<b>事業収入</b>	<b>5,910,000</b>	<b>5,495,000</b>	<b>415,000</b>	
一般事業収益	5,910,000	5,495,000	415,000	各種広報誌広告料等
<b>補助金収入</b>	<b>55,155,000</b>	<b>64,643,000</b>	<b>△ 9,488,000</b>	
地方公共団体補助金	35,125,000	44,613,000	△ 9,488,000	郡山市
会議所補助金	20,030,000	20,030,000	0	郡山商工会議所
<b>雑収益</b>	<b>206,000</b>	<b>206,000</b>	<b>0</b>	
受取利息	1,000	1,000	0	
雑収入	205,000	205,000	0	
<b>経常収益合計</b>	<b>69,056,000</b>	<b>78,499,000</b>	<b>△ 9,443,000</b>	
<b>(2) 経常費用</b>				
<b>事業費</b>	<b>33,674,001</b>	<b>45,781,000</b>	<b>△ 12,106,999</b>	
<b>誘致支援活動事業費(公1)</b>	<b>21,485,001</b>	<b>34,000,000</b>	<b>△ 12,514,999</b>	
報償費	200,000	300,000	△ 100,000	セミナー講師謝礼
旅費交通費	1,777,000	1,787,000	△ 10,000	営業活動に係る旅費
需用費	5,083,000	15,769,000	△ 10,686,000	各種支援経費等
委託料	0	106,000	△ 106,000	
役務費	783,000	784,000	△ 1,000	郵券代等
使用料及び賃借料	1,439,000	1,464,000	△ 25,000	各種商談会出展料等
支払助成金	11,790,000	13,790,000	△ 2,000,000	開催助成金等
什器備品減価償却額	413,001	0	413,001	サーマルカメラ・プロジェクター
<b>調査研究事業費(公2)</b>	<b>1,762,000</b>	<b>1,767,000</b>	<b>△ 5,000</b>	
旅費交通費	633,000	633,000	0	研修旅費等
需用費	206,000	206,000	0	アンケート調査経費等
役務費	389,000	389,000	0	アンケート調査郵券代等
負担金支出	534,000	539,000	△ 5,000	研修会費等
<b>広報宣伝事業費(公3)</b>	<b>10,427,000</b>	<b>10,014,000</b>	<b>413,000</b>	
需用費	9,321,000	8,834,000	487,000	印刷製本費等
役務費	1,106,000	1,180,000	△ 74,000	広告掲載料等

<b>管理費</b>	<b>35,859,695</b>	<b>32,847,385</b>	<b>3,012,310</b>	
<b>事務局運営費</b>	<b>29,467,000</b>	<b>26,801,000</b>	<b>2,666,000</b>	
給料手当	23,995,000	21,825,000	2,170,000	
福利厚生費	5,468,000	4,972,000	496,000	
支払負担金	4,000	4,000	0	
<b>会議費</b>	<b>216,000</b>	<b>192,000</b>	<b>24,000</b>	
役務費	14,000	13,000	1,000	郵券代等
使用料及び賃借料	202,000	179,000	23,000	会場使用料等
<b>事務所費</b>	<b>4,888,695</b>	<b>4,502,385</b>	<b>386,310</b>	
需用費	1,200,000	948,000	252,000	コピー費等
役務費	312,000	351,000	△ 39,000	電話料金等
使用料及び賃借料	3,312,000	3,074,000	238,000	事務所賃借料等
什器備品減価償却額	64,695	129,385	△ 64,690	
<b>一般事務費</b>	<b>1,288,000</b>	<b>1,352,000</b>	<b>△ 64,000</b>	
旅費交通費	2,000	2,000	0	
需用費	268,000	287,000	△ 19,000	コピー用紙等
役務費	569,000	614,000	△ 45,000	振込手数料等
使用料及び賃借料	399,000	399,000	0	自動車リース料等
交際費	50,000	50,000	0	
<b>経常費用合計</b>	<b>69,533,696</b>	<b>78,628,385</b>	<b>△ 9,094,689</b>	
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 477,696</b>	<b>△ 129,385</b>	<b>△ 348,311</b>	
<b>2. 経常外増減の部</b>				
(1) 経常外収益				
経常外収益合計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用合計	0	0	0	
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 477,696</b>	<b>△ 129,385</b>	<b>△ 348,311</b>	
<b>一般正味財産期首残高</b>	<b>132,856,291</b>	<b>132,985,676</b>	<b>△ 129,385</b>	
<b>一般正味財産期末残高</b>	<b>132,378,595</b>	<b>132,856,291</b>	<b>△ 477,696</b>	
<b>II 指定正味財産増減の部</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>132,378,595</b>	<b>132,856,291</b>	<b>△ 477,696</b>	

(注)科目間の流用については、理事長に一任します。

# 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

令和4年4月1日から令和5年3月31日中に資金調達の予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

令和4年4月1日から令和5年3月31日中に設備投資の予定はありません。

以上